

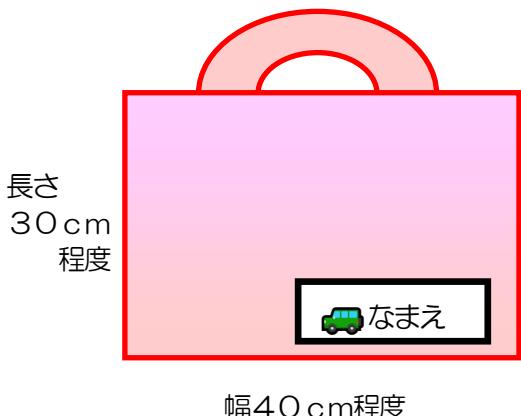
<用品の作り方>

※すべての持ち物に名前を書きましょう。

※未満児、年少児のお子さんは、自分の持ち物が分かりやすいよう、お子さんのマークを付けください。

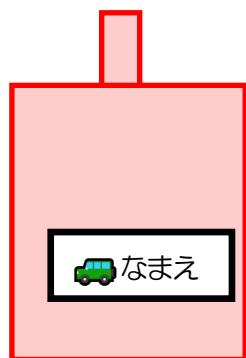
※市販の用品を使っていただいてもかまいません。

1. 手さげ袋 <全園児>



2. 上靴入れ <年少児・年中児・年長児>

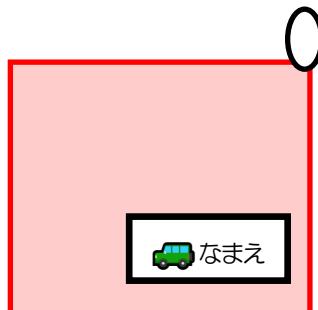
- 上靴入れは、年長児になってからも使えるように大きめのサイズのものになると、自分で出し入れもしやすくなります。



3. ループタオル <0歳児～4歳児（年中児）>

*年長児は、子供達の様子を見てループタオルからハンカチに切替えます。切替え時期については各園にお問い合わせください。

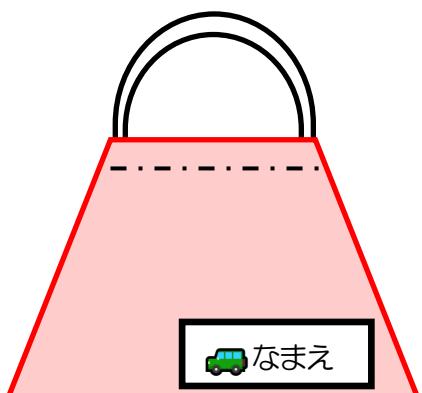
- 手洗い後に使う手ふき用のタオルです。
- ループ付きのタオルを用意してください。
- 毎日持ち帰りますので、2・3枚は作っておきましょう。



30cm×30cm程度

4. 食事用エプロン <0, 1, 2歳児>

- おやつ、食事のときに衣服を汚さないようにエプロンを使います。



- ① ハンドタオル又は、フェイスタオル1/2サイズを使用する
- ② 上端を縫ってゴムを通す。
- ③ ゴムの長さを調節する。



一日3枚、使用します。
洗い替えも含めて6枚程度、用意してください

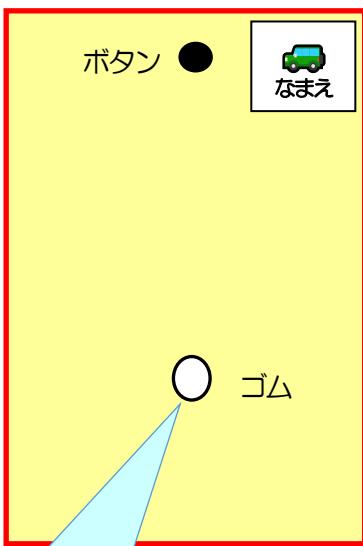
5. 就寝ふとん・ふとん袋 <全園児>

敷布団の厚みは薄めを用意して、三つ折りにしてゴムでとめてください。

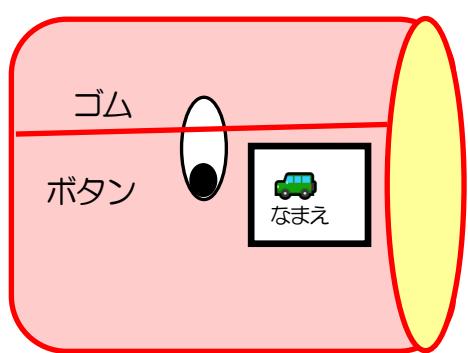
敷布団（表面）



敷布団（敷布団）



三つ折り

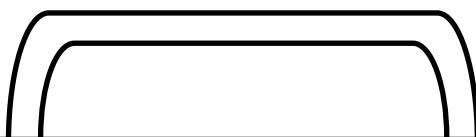


掛布団、毛布、バスタオル
などは、敷布団のなかに
置んでいれてください。

幅65cm程度

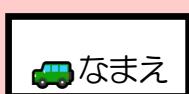
布団を三つ折りした時に止められる
よう、3分の1位の位置にゴムをつけて
ください。

ゴムが長すぎると、首にまきついて危
険なため、ゴムの長さは、ボタンにか
かる程度にしてください。



<ふとん袋>

ふとんが入る大きさ



*ふとん袋は、その都度お持ち帰りください。

【就寝の期間】

- ・未満児・・・一年間
- 年少児・・・4月から10月まで。
- 年中児・年長児・・・6月頃から
8、9月頃まで。
- ・幼児クラスは、子ども達が自分で布団を敷いたり、片づけたりします。大きすぎる布団、マットなどは、扱いにくいため、お子さんが置んだり、運んだりしやすいものを用意してください。。
- ・枕は不要です。
- ・掛け布団は、季節に合わせて用意してください。
(上掛け布団・タオルケットなど)
- ・おねしょシーツ、敷き毛布を使用する際は、敷布団の四隅を固定してください。

